

リハビリテーション課のご案内



リハビリテーション課 課長
増田 廣介（公認心理師・言語聴覚士）

当リハビリ課では歴史的に整形疾患が多く、理学療法を中心とした療法を提供してまいりました。近年では、脳血管疾患や神経難病の方への対応も増えています。

地域リハ病院のリハビリの特性として、外来・回復期・地域包括ケア・デイケア・訪問部門すべてにリハビリスタッフを配置しています。



*当法人のリハビリ提供体制の歴史

平成6年	訪問リハビリ提供開始 （介護保険サービス法成立前）
平成20年	デイケアはっぴい 開設
平成23年	回復期リハビリテーション病棟 開設
平成25年	回復期リハビリテーション病棟 365日リハ提供体制開始
平成26年	別館増築（リハビリ室の移転）
平成30年	言語聴覚療法部門開設 地域包括ケア病棟開設

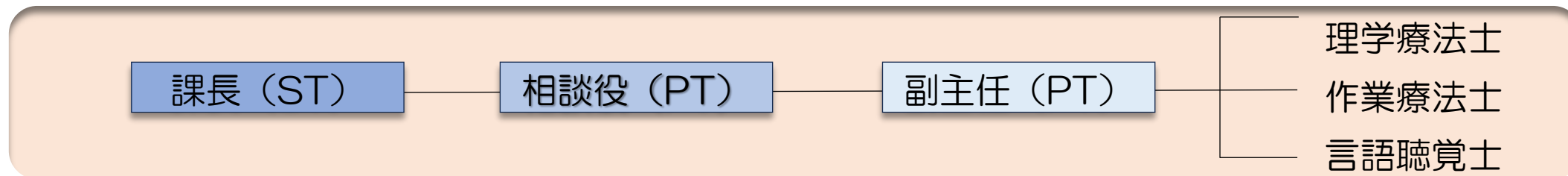


令和6年度の入院患者様のリハビリ処方の割合は、回復期病棟では運動器が81.7%、脳血管が11.3%、廃用が7%でした。包括ケア病棟のリハビリ処方割合は、運動器が52.2%、脳血管が11.3%、廃用が36.4%でした。

高齢化が進む周辺地域において当院の果たすべき役割を十分に認識し、より質の高いサービスの提供につとめる事により「安心して暮らせる地域づくり」に貢献できるリハビリ体制を目指して行きます。

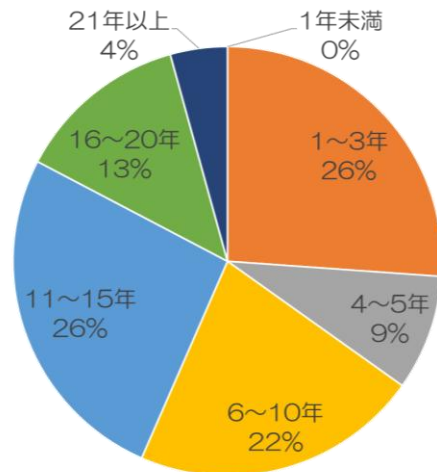
リハビリテーション課

*スタッフ構成 27名 (PT18名, OT5名, ST3名, 助手1名)



*経験年数の構成

1年未満	0
1～3年	6
4～5年	2
6～10年	5
11～15年	6
16～20年	3
21年以上	1
合計	23



*所属学会・団体（一例）

日本理学療法士協会 日本作業療法士協会
日本言語聴覚士協会 日本高次脳機能学会
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
日本認知症ケア学会 日本全体構造法学会

*資格取得

LSVT LOUD認定療法士 (ST: 高濱 英志)
認知症ケア専門士 (OT: 山内 良太)

*残業時間

令和7年4月～6月では月平均7時間程度

*年次休暇の取得状況

令和6年7月～令和7年6月では平均9.5日取得

*離職率

令和6年度 7.2% 令和7年度 4%

*学会発表（令和6年度）

第26回 長崎県国保連地域医療学会

『地域を支える言語聴覚士を目指して～法人機能を活用した取り組み～』

第13回 日本言語聴覚士協会 九州地区合同学術集会 鹿児島大会

『ケアで取り組む誤嚥性肺炎予防～誤嚥性肺炎を繰り返す利用者への介入支援～』

第13回 日本言語聴覚士協会 九州地区合同学術集会 鹿児島大会

『法人で取り組むパーキンソン患者への介入支援』

リハビリテーション提供体制（チーム）

チーム名称	構成員
外来・包括チーム	<ul style="list-style-type: none"> • PT3名 • OT2名
回復期チーム	<ul style="list-style-type: none"> • PT7名 • OT3名
デイケア・訪問チーム	<ul style="list-style-type: none"> • PT4名
STチーム	<ul style="list-style-type: none"> • ST3名

STは全チームを横断的・縦断的に跨がって業務を行っている。疾患別リハ専従1名のSTを除いたST2名は外来・回復期・包括・デイ・訪問すべてで業務を行っています。



令和6年度リハビリ処方件数（入院）

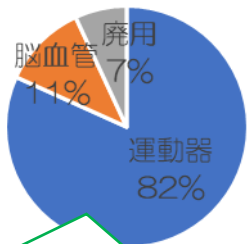
<回復期>

◎PT・OT：159件

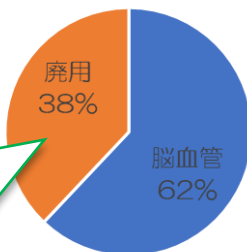
運動器	130
脳血管	18
廃用	11
合計	159

◎ST：29件

脳血管	18
廃用	11
合計	29



廃用を来した
先行疾患は
ほぼ誤嚥性肺炎



変形性膝関節症	2
両膝部打撲傷	1
恥骨骨折	1
圧迫骨折	69
大腿骨頸部骨折	3
大腿骨転子部骨折	14
人口膝関節置換術後	2
人口股関節置換術後	4
骨盤骨折	1
踵骨骨折	1
膝蓋骨骨折	2
その他	30
合計	130

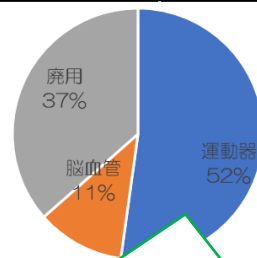
<包括ケア病棟>

◎PT・OT：477件

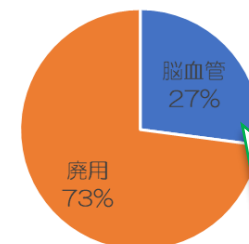
運動器	249
脳血管	54
廃用	174
合計	477

◎ST：85件

脳血管	23
廃用	62
合計	85



変形性膝関節症・関節炎関連	30
変形性脊椎症の急性増悪	4
変形性腰椎症・その急性増悪	45
変形性股関節症・関節炎関連	4
変形性頸椎症	2
圧迫骨折関連	54
踵骨骨折	2
腓骨骨折	4
橈骨遠位端骨折	4
頸部骨折	4
脊柱管狭窄症関連	16
捻挫	2
その他	78
合計	249



脳卒中・急性期	3
脳梗塞後遺症	3
パーキンソン病の急性増悪	7
パーキンソン症候群の急性増悪	3
脊髄小脳変性症	1
大脳基底核皮質変性症	1
進行性核上性麻痺	1
その他	4
合計	23

神経難病系の患者様が
5割以上を超える